

“こんなにあった!! プラスチック”プラ分別やってみた

新日本婦人の会大田支部

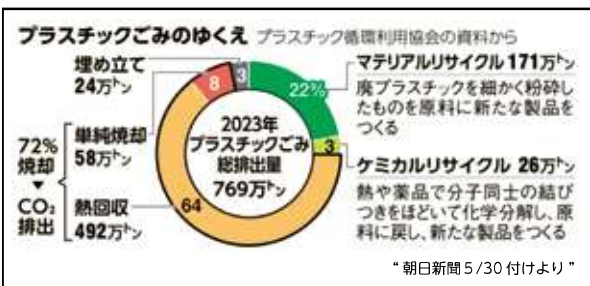
◆はじめに

2025/4 から大田区全域で、プラスチック分別回収が始まりました。

「持続可能な社会を形成していくためには、プラスチックと賢く付き合うとともに、使用後のリサイクルを促進し、循環利用を図る必要があります」大田区発行(資源とごみの分け方・出し方)から
そこで、実際に分別し、プラスチックについて学び、行動していこうと考えました。

◆みんなでやってみた

- ①1 週間分をまとめる
- ②重さを量り、写真を撮る
- ③何人分かを記入し、感想を書く



◆まとめ

参加したほとんどの人からプラがこんなに多いこと、可燃ごみがぐっと減ったことが語られました。「プラごみ分別しても7割焼却」(朝日5/30・6/7)とあるように、消費者や行政にだけ、持続可能な社会への協力を求めるのには限界があります。メーカーから洪水のように出されるプラスチック製品への強い規制が、今求められるのではないのでしょうか。身近なおしゃべりなどからでも環境問題への関心を高め、日本全体の課題として取り組まれるよう学び、行動していきましょう。

【アンケートから】

人数	重さ g	感想
2	230	前からかさばらないように気をつけている。生野菜は、肥料にするとか工夫を
1 + 猫 2	410	何でも袋に入っていて、みなプラごみ。すぐとか大変。量を減らしたいが、プラが多すぎる
2	947	高齢者の生活。産直・生協、小売店を利用。味噌も手づくり、生活用品は詰め替えなどもほとんどがプラ。マイボトル・エコバッグは定着。粘り強く宣伝が必要。「もったいない」「大切」「愛情」を持って使いたいものです
2	347	分別に慣れてきました。さっとゆすいで濡れたままごみ袋に入れてしまうものもあり気になる
1	300	トレイに入れないで袋でいいのではと思うものもある。洗ったりするので水道代が気になる
2	500	プラを分けたら生ごみが少なくなりました
2	420	プラは30ℓ入りで満杯。可燃ごみは今までは20ℓが週3回だったのが1回でOK。減らしたいけど、買い物のほとんどにプラスチックが
9	1200	量がかさばり、大きい袋にとりかえた。洗い切れないプラも結構あった。分別する中で材質に目が行き、紙容器も増えているように思った
4	630	想像以上にプラが多くて驚きました。どこまで細かく分別するか少し悩みました
1	249	できるだけプラを避けているのだけれど産直野菜の袋にもプラ。メーカーが市場に出し、私たちが消費・分別し、行政が税金を使ってリサイクルしている。発生抑制が必要
2 + 春休みで孫の分	700	可燃ゴミが半分に。プラが多くてびっくり。生産者が製造を減らせないのか。生協もプラの包装多いです。プラの最終的な処分が知りたい
2	600	プラ分別先行地域だった。環境への負荷軽減になるのだと真面目にやっている。分別の手間に水道代も増える。それ以上に、プラ製品を減らしていく国の方針がもっと重要だと思う
2	647	可燃ごみが1/3になった。プラ容器を避けているが。洗って出すが、それがいいことなのか?
4	600	お肉、お惣菜のバックが一番多い。すぐのはめんどろ
3	930	コメントなし
2	353	プラの多さにびっくり

新日本婦人の会(略称新婦人)とは

女性のねがいで行動する国連 NGO の女性団体です。1962 年に平塚らいてう、いわさきちひろらの呼びかけで創立。個人参加では国内最大の女性団体で、週刊の「新婦人しんぶん」を発行。食と環境にも大きな関心を持ち、学習・行動を。学校給食費無償化や体育館へのエアコン設置など運動し実現。平和の 2 署名にもとりくみ楽しいサークル活動も多彩です。